

国際課活動レポート

◆和歌山県人会世界大会【11月24日～27日】

～海を渡った先人達～

海外・国外で活躍する和歌山県人がここに集う



和歌山県は、全国で6番目に多い約4万人もの移住者を輩出した移民県であることをご存じですか？海外に移住された方々は、移住先において和歌山県人会を組織し、文化や伝統を次世代へ継承する様々な活動を続けられてきました。また、国内各地でも和歌山県人会が組織され、故郷を離れた和歌山県人相互の交流が図られています。和歌山県と各県人会はこれまで、創立周年記念式典や子弟受入事業等の機会を通じて、様々な交流を続けてきました。

11月24日（日）海外県人会から約280名、国内県人会から約170名がふるさと和歌山に里帰りし、初の「和歌山県人会世界大会」が盛大に行われました。

式典では、仁坂知事の挨拶のあと、各県人会の紹介、顕彰盾の授与、全県人会を代表してブラジル和歌山県人会長の挨拶、大会宣言、合気道の紹介と演武、和歌山県の移民史のビデオ上映などが行われ、和歌山県民、海外・国内県人会双方にとって意義のある式典となりました。

また式典後半においては、宮沢和史さん（元『THE BOOM』）、大城クラウディアさん（日系2世の歌手でアルゼンチン和歌山県人会員）、和歌山児童合唱団、星林高等学校吹奏楽部が出演した記念コンサートでは、県内の小学生が心を込めてメッセージや絵を描いたマラカスを手に県人会員が壇上へ上がり、会場が一体となって大いに盛り上がりました。

25日からは海外県人会員は紀北、紀中、紀南の3コースに分かれて2泊3日で県内をまわり、各地で県民の皆様と様々な交流をしました。参加者からは『祖父母から聞いていた和歌山がこんなに素晴らしいところだと知ることができ誇りに思う』、『皆さんのおもてなしに感動した』という感想が寄せられました。



今大会では、移民の歴史を共有し理解を深め、国内外の県人会員が故郷への誇りと親しみを新たにしました。今後県人会世界大会が定期的に行われ、和歌山県にゆかりのある方々の絆がより一層強固なものとなることが期待されています。